

「こらぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校園、地域社会、事業者の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。

特集

今、岡山市の子どもたちに 必要な学力とは？

将来、豊かな人間性を備えた大人になるために、
今の子どもたちに必要とされる学力とは何でしょうか。
また、その学力を育むために求められる教育とは。
子どもの未来を考えた教育のあり方を一緒に考えてみませんか。

大人になった時に
どんな学力が
役立ちますか？



「読解力」「表現力」に課題

子どもを取り巻く環境が複雑に変化する中、子どもたちの学力低下や、学習の定着状況についてさまざまな課題が顕在化してきています。岡山市の子どもたちはどうでしょうか。

平成19年度から行われている「全国学力・学習状況調査」の結果を分析したところ、本市の子どもたちが抱える課題として、①読解力・表現力が全国的にみて弱い。②無解答率が高く、こみ入った問題にチャレンジすることなく、粘り強く答えを導こうとする意欲が低い。③家

庭学習の時間が短く、中学3年生が家庭で復習する割合は全国平均に比べ10%近くも低いことなどがわかりました。

学校・家庭・地域が協働で、子どもの「学び」を広げる

この分析をもとに、岡山市では、子どもの「思考力・判断力・表現力等の育成」と「学ぶ意欲の向上」に重点を置いた取り組みを進めています。思考力・判断力・表現力は、子どもたちの成長を長い目でとらえた時に、社会に出て「生きる力」につながるベースとなるもので、国でも知識や技能の習

得とともに、これらの力を重視しています。岡山県の高校入試問題でも、学校で学んだ知識を問うだけの問題から、思考力や表現力もはかる問題へと出題傾向が変わりつつあります。(左の問題参照)。

自分で考え、言語などを使って豊かに自己表現できる力をも身につけた「自立する子ども」を育成するために、本市では幼小中が一貫して学びを高め、いく取り組みとともに、学校と家庭、地域がそれぞれの立場でつながり学びの場を広げていく、市民協働の取り組みを推進しています。

自分で考え、判断し、”自立できる”子どもたちの育成を！

覚えるだけの勉強でいいですか？



受験も変わってきています。

数学にもまずは読解力が必要!?

—岡山県の県立高校入試問題にみる出題傾向—

以下の問題のように、文章やグラフから必要なことを読み取る力(読解力)を問う問題が増えており、岡山県の県立高校入試の問題は、どの科目も問題文の文章が長く、読解力が必要となっています。これらは、特別な知識や方法を問う問題ではなく、基本的な知識・技能で答えを導き出せますが、そこに至るまでの見方や考え方に重きを置いた内容となっています。

図次の文章は、健一さん、真衣さんと数学の先生が授業の中で交わした会話の一部である。

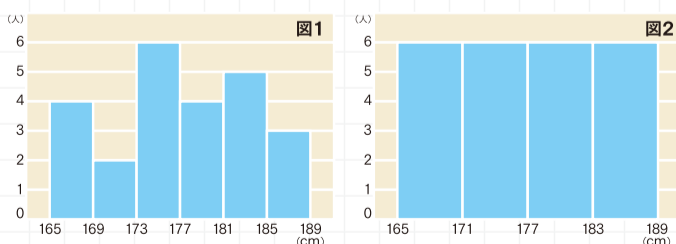
健一：私は、昨年のあるサッカーリーグ戦における得点ランキング上位24人の選手の身長資料を作りました。この資料から、図1のように階級の幅を4cmにしたヒストグラムを作りました。・・・(略)・・・

真衣：私は、健一さんが作った資料から、階級の幅を (ア) cm にしてヒストグラムを作ったところ、図2のようになり、4つの階級とも度数が6となりました。・・・(略)・・・

先生：・・・(略)・・・図1と図2のヒストグラムから、171cm以上173cm未満の選手は何人いると分かりますか。

真衣：はい、171cm以上173cm未満の選手は (イ) 人です。

先生：そうですね。そうだとすれば、階級の幅を2cmや3cmにするとどんなヒストグラムになるか、確かめてみると面白そうですね。



問① (ア) に適当な数を書き入れなさい。

問② (イ) に当てはまることばとして最も適当なものは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

(1) 1人もいません (2) 1人います (3) 2人います (4) 3人います
(平成25年度入学 岡山県立高校入試問題より一部を抜粋)

●答えは、次のページで。

どんな学びが将来に役立つのかな？

- 学校園で学習したことや体験したことを、普段の生活の中で生かしてみる。
- 経験したことを記録したり、報告したり、自分の言葉で相手に伝えてみたりする。
- 社会的な出来事を大人たちと一緒に考え、意見を交換してみる。
- 仮説を立てて観察や実験を行い、結果を自分なりに解釈してみる。
- 地域の行事や文化を学び、参加してみる。
- 失敗をおそれず、非日常的なことにチャレンジしたり、冒険的な遊びを体験したりしてみる。

学ぶ喜びを見つけよう！





岡山市教育委員会
教育委員長 渡辺 勝志(弁護士)

子どもの学力、
どう考える？

「自分で調べる」学習習慣を

昨今の大きな教育問題として、子どもたちの学力低下が指摘されています。学校で教えられたことについて、ただ点数が取ればよい、習ったことを丸覚えすればよいという目先のやり方にとらわれてしまっていないでしょうか。「自分で考える力」を育てるために、「自分で調べてわかる」という大切な姿勢を身につけてほしいと思います。

また、そうした力や態度を身につけるには、読み書き計算などの基礎学力はともかく、基礎基本をしっかりと学ばせ、その上で将来につながる専門能力を開花させるペースづくりとなる教育が、改めて必要とされていると感じますね。



昨年は毎土曜日に17回実施

目指せ！合格…。
勉強会は、あくまで自習が基本。自分のペースで教材に取り組み、わからない時は手を挙げて、科目に応じてボランティアの先生が個別に指導してくれま

PTAが中心となって、中学3年生(希望者)を対象に昨年「高校受験対策勉強会」をスタートした妹尾中学校。同校生徒の保護者に加えて、社会人学生など、ボランティア登録された人たちがプロジェクトチームを結成し、毎週土曜日の午前中に子どもたちの学習指導にあたっています。

「自らの目標に向かって自分なりに努力すれば、必ず成果につながる。そんな学習体験の場にした」と運営スタッフの山本さん。参加している生徒の保護者からは、進んで家庭学習に向かうようになった、などの声も上がり、「自学自習の意識づけや習慣づけに大きな効果を発揮しているようです。

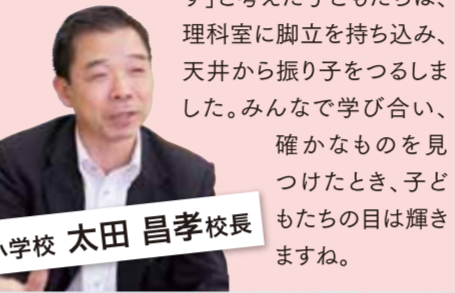
学校・地域の取り組み事例

岡山市立 妹尾中学校
学校支援ボランティアでの学習支援

ボランティアチームで土曜授業を実施。「自学自習」で、子どものやる気を引き出す

理科の授業で大切にしている視点は？

子ども自身が本気で調べたこと、その結果わかったことは誰かに伝えたいし発表したくなるものです。その気持ちを引き出すよう、子どもたちが自ら進んで調べたいような仕掛けづくりに力を入れています。例えば「振り子」の実験で、「もっと糸の長さを長くすると1往復する時間も長くなるはず」と考えた子どもたちは、理科室に脚立を持ち込み、天井から振り子をつるしました。みんなで学び合い、確かなものを見つけたとき、子どもたちの目は輝きますね。



庄内小学校 太田 昌孝校長



石灰水はどうなった？

白くにごった！

理科の授業を中心に、子どもたちの思考力や判断力、表現力を育てるための授業研究に取り組んでいる庄内小学校。「知りたい、確かめたい、伝えたい」を合言葉に、先生方が教材にさまざまな工夫を凝らし、実験や体験をふんだんに取り入れた授業を展開しています。この日の授業は「いろんなものを燃やしてみよう」と題した6年生のクラス。「ものが燃える」と空気はどうなるかをめあてに、石灰水を入れた集気びんの中でろうそくを燃やす実験が行われました。その結果をふまえ、新たな疑問や実験にいかに関心を持っていくかが授業研究のねらい。ろうそくの次は段ボールやガゼなど炭素を含むもの、そしてさらには金

学校の取り組み事例

岡山市立 庄内小学校
教育課題別研究

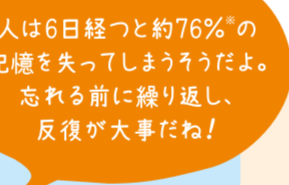
「そうか！ わかった！」。実感を持った理解で、子どもの学ぶ意欲や考える力を伸ばす授業に取り組む

属を燃やすと空気はどうなるか…。子どもたちの「知りたい」によって、学習が進められていきます。



育てよう！岡山っ子

岡山市では、子どもたちの「豊かな学び」を実現するためのさまざまな取り組みを推進しています。その一例として、岡山市内小・中学校および地域で行われている教育活動を取材しました。加えて、子どもたちの学習をどう支えるか。家庭での取り組みのヒントもご紹介します。



人は6日経つと約76%の記憶を失ってしまうそうだよ。忘れる前に繰り返し、反復が大事だね！

※ドイツの心理学者エビングハウスの実験による

家庭学習の取り組み事例集

子どもの教育は学校と家庭、地域で創り上げるものです。学校園ではさまざまな工夫を凝らし、保護者と学校園をつなぎ、家庭での生活や学習をより豊かにする働きかけを行っています。その取り組みの一例を紹介します。

- 福浜幼稚園** 『親子絵本』の取り組み
親子で絵本を楽しむ「親子絵本」では、親子がそれぞれ好きな本を1冊選んで、借りて帰ります。借りて帰った本は、保護者が読み聞かせをし、その時の子どもの様子を「にこにこえほんのーと」に記録し提出。担任がコメントを記入し、体験を共有しています。
- 大元小学校** 『おおもと学習』
授業ノートとは別に、授業で学習したことをまとめ直す家庭学習ノート「おおもと学習ノート」を実施。児童は、授業を振り返り、ノート写しを手始めに、「めあて」「一人学び」「学び合い」「まとめ」の4つの道筋でマインドを作成します。自分なりに復習でき、確かな学びにつながっています。
- 石井中学校** 『オフメディアにチャレンジ』
定期考査週間中の3～4日間、テレビ、ビデオ、ゲーム、インターネット、メールなどのメディアを制限する取り組みです。生徒は3つのレベルコースの中から1つを選び、「守れた」「守れなかった」をカードに記録。学校全体で取り組むことで、家庭内での生活習慣の改善をはかります。



みなみっこ広場の楽しいところは？

最初に比べ姿勢が明らかに良くなるのでうれしい。実際にリレーで2位になりました。近くのおじさん、おばさんが「先生」なので、わからないことも聞きやすく、楽しく活動しています。

6年生 山根 愛理さん

学校・地域の取り組み事例

岡山市立 御津南小学校
放課後子ども教室での体験学習



なかなか難しいなあ

バランスボールで足が速くなる!? 体験活動で体を使いながら、学ぶ力を育む

御津南小学校の放課後子ども教室「みなみっこ広場」では、子どもたちが体を動かしながら学ぶ「体験活動」に積極的に取り組んでいます。講師は地域の人が務めるなど、地域と学校が連携して、学びの場を広げています。体験活動の中でも人気の高い「足が速くなる」バランスボール講座。バランスボールを使った運動は、姿勢を良くする効果があるため、走るフォームが改善され足が速くなるそうです。まずは全身をほぐす準備体操をしっかり行い、ボールの体操(二人一組に分かれ、ボールに座って垂直に飛び跳ねたり、ボールの上で回ったりといった大人でも難しいような運動を、

子どもたちは笑顔でこなしていきます。終了後は全員背筋がピンと伸び、見違えるような姿勢に。運動の効果を実感し満足そうでした。

家庭学習

家庭学習は“自分で学ぶ力”を育てます

家庭学習はなぜ必要なの？

家庭学習は、学校の授業で勉強した内容をしっかりと定着させ、自分で計画的に学ぶ姿勢を身につけるためにとても重要です。授業である程度「理解」することはできても、問題が「できる」ようになるには、家庭学習で補っていく必要があるのです。

家庭学習を定着させるには？

家庭学習の時間を生活リズムの一部に位置づけましょう。習慣化するには、家庭の中で粘り強く取り組み、身につけていく姿勢が大切です。学ぶことへの集中力と安心感が育つ寄り添い方や環境を、各家庭の中で工夫しましょう。そのポイントをいくつか紹介します。

- Point 1** 子どもの興味に寄り添い、声かけを！
小学校低学年なら読み聞かせやお手伝いを生活に取り入れ、「まねる」ことから自主的な「学び」にシフトしていきましょう。高学年や中学生は、教科書と副教材をしっかりと利用し、目標を立てて、ていねいな反復学習をしましょう。
- Point 2** 学習に集中できる環境づくりを！
まずは机の周りを整理整頓。勉強する時間も、できればルールを決めて毎日同じ時刻に、決めた時間だけがんばりましょう。ながら勉強はせずに、ゲームは我慢。毎日の積み重ねが大きな力になります。
- Point 3** やる気スイッチを見つけよう！
家庭学習の後は、今日一日の成果を確認しましょう。できたことや疑問を明らかにすることが、次のやる気につながります。子どもの話を聞き、思いを受け止めながら、小さな変化を笑顔でほめてあげましょう。特に家庭学習の習慣が定着するまでは、寄り添い見守ることが子どもの自信や安心につながります。

岡山市教育委員会からのお知らせ

岡山市適応指導教室

不登校の児童・生徒の自立を支援 東部適応指導教室「すまいる瀬戸」を開設

岡山市適応指導教室は、不登校の児童・生徒が学校に復帰できるよう自立への適応指導を行っている施設です。これまで市内には、トラングルー宮、ラポート牧山、あおぞら清輝の3施設が設置されていましたが、平成25年4月に、東区瀬戸町にある「瀬戸町健康福祉の館」1階に「東部適応指導教室 すまいる瀬戸」が新設されました。ここでは在籍している学校と連携をとりながら、小集団での生活を基本に、さまざまな体験活動や学習支援等を行っています。

入室については、専門

相談員が親子面談を行い、本人の思いを尊重した上で決定します。また市内にある適応指導教室は、いずれも学区に関係なく、入室したいところを自由に選ぶことができます。岡山市のHPでも、詳細をご覧いただけます。



「すまいる瀬戸」の学習・活動室

ひとことコメント

不登校の子どもたちは、それぞれがデリケートで複雑な背景を抱えています。その子なりのがんばりや成長を受け止め、目的に向かって自信を回復できるよう支援ができればと思っています。ここは福祉機関の拠点となっている施設でもあるので、お年寄りの方々との交流、地域の特性を生かした農業体験なども新たに取り入れていきたいですね。



「すまいる瀬戸」室長 横山 福水

入室までの流れ

- 電話等で、教育相談室または各適応指導教室にご相談ください。
- 面接相談を通じ、施設への理解を深めていただき、体験入室を数回行います。
- 本人の準備ができた段階で、専門相談員との面接相談を行います。
- 適応指導教室への入室が望ましいと認められた場合、保護者から学校へ入室の手続きをしていただきます。

岡山市教育相談室

☎086-224-4133
☎086-234-0999(子ども専用電話)

東部適応指導教室 すまいる瀬戸

岡山市東区瀬戸町下146-1
(瀬戸町健康福祉の館内)
☎086-952-9161

お問い合わせ

岡山市立中央図書館

今年30周年を迎えた市立中央図書館 催しやESD関連の図書にも注目!

地域密着型の生涯学習の拠点として広く親しまれてきた市立中央図書館が、昭和58年の開館から30周年を迎えました(創立は大正5年)。開館時、約14万5,000冊の図書から始まり、現在の蔵書は約83万冊。さまざまなジャンルの本をそろえ、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い市民の読書ニーズに応えています。

同館では、そのあゆみを記念し、今年にはさまざまな記念展示や講演会、イベントなどを計画中です。また、平成26年秋、岡山市でESDに関するユネスコ世界会議が開催されるのに合わせ、ESD関連資料の収集にも力を入れています。身の回りの自然や環境についての本や関連

する絵本などをきっかけに、持続可能な社会について考えてみませんか。



ESDコーナーでは、岡山での実践事例や入門的な資料、ESD関連のチラシなどを展示

親子で読もう!! ESD BOOK

2014年 ユネスコ世界会議開催

知ろう!学ぼう!行動しよう!

よくわかるESDまんが読本1

環境アセスメントセンター西日本事業部/制作・著作
岡山市京山地区ESD推進協議会/発行

私たちの暮らしが地球環境に深く関わっていることが、まんがでわかりやすく説明されています。 **小学校・中学年以上**



地元学をはじめよう

吉本哲郎/著
岩波書店/発行

自分たちの住む地域を知ることはESDの第一歩。調べ方からまとめ方まで豊富な事例が掲載されています。 **小学校高学年以上**



もったいないばあさん

真珠まりこ/作 講談社/発行

幼稚園以上

もったいないことをしていると、「もったいないばあさん」がやってきますよ。ものと命の大切さを問いかけるオモシロ絵本です。



どんぐりちゃん

アン・ドヒョン/文 イ・ヘリ/絵
ゲ・イル/訳 星の環会/発行

小学校低学年以上

命のつながりを描いた一冊。どんぐりちゃんが命のバトンをつないで「木」へと成長していく様子が感動的です。



ESDって何?

ESDとは、社会のさまざまな課題を知り、身近なところからより良い社会づくりのために、行動を起こす力を育てる学習や活動のことです。学校園や企業、地域、NPO、行政などさまざまな団体が活動しています。

市立中央図書館 司書 杉野 葉



創刊にあたって

「こらぼ」から始まる市民協働に期待

近年、教育の課題は多様化し、解決には行政や学校だけでなく保護者や地域の方々との連携・協働は不可欠になっています。岡山市では「岡山っ子育成条例」を制定し、市民協働での「自立した子ども」の育成を推進しています。市民協働とは、「みんなで一緒に何かすること」と思われがちですが、真の意味は、保護者、学校、行政、地域や関連する企業など子どもを取り巻くすべての大人が、自らの立場でできる役割を理解し、それぞれが行動すること、それを学校運営に生かすことです。

これからも多くの市民の皆さんが教育活動に参画できるよう、岡山市の基本的な教育の考え方、事業の方向性をお知らせし、岡山市の教育を理解していただき

たいと考えて教育広報紙「こらぼ」を創刊することにしました。今後、「こらぼ」によって市民の皆さんが子どもの育ちに関心を持ち、市民協働の輪が広がっていくことを期待しています。



岡山市教育委員会 教育長 山脇 健

岡山市教育広報紙「こらぼ」のイメージキャラクターを紹介します

ぼくの役割は学校でみんなと一緒に勉強しながら、岡山市の教育のことを広報紙で紹介すること。岡山の名産、白桃をイメージした顔と耳が特徴だワン!!

ぼくの詳しいプロフィールは次号で紹介するよ!



創刊号の

ご感想をお聞かせください!!

教育広報紙「こらぼ」へのご意見・ご感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から、抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

応募方法

〒、住所、氏名、年齢(または学年)、電話番号を明記の上、

【はがき・封書】 〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 岡山市教育委員会事務局 教育企画総務課 行き

【FAX】 086-234-4141

【Eメール】 korabo@city.okayama.jp

応募締切

平成25年8月31日(土)当日消印有効

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用いたしません。 ※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

図書カード



メール用